

韓国 ロッテ創業者の長女を背任の疑いで逮捕 | NHKニュース

7月7日 11時07分



動画を再生する

韓国の大手財閥ロッテグループの創業者の長女が、化粧品会社などから多額の裏金を受け取って免税店や百貨店への出店に便宜を図ったとして、背任の疑いでソウルの検察に逮捕され、ロッテの経営体質は不透明だとする批判が韓国国内で再び高まっています。

韓国メディアが一斉に伝えたところによりますと、ソウルの検察は、7日、韓国の大手財閥ロッテグループの創業者、重光武雄氏の長女のシン・ヨンジャ(辛英子)容疑者(73)を背任の疑いで逮捕しました。

シン容疑者は、ロッテグループの免税店や百貨店への出店を望む、韓国の複数の化粧品会社などから、およそ30億ウォン(日本円でおおよそ2億6000万円)の裏金を受け取って便宜を図った疑いが持たれています。

ロッテについては、去年、東京に本社があるロッテホールディングスの経営権を巡って創業家内部の対立が表面化するとともに、系列会社の間で資産を移動させ裏金を作っていた疑いが浮上し、韓国の検察が先月、ロッテグループの本社や経営陣の自宅を捜索しました。

ロッテグループの創業家から逮捕者が出たのは、今回が初めてで、ロッテの経営体質は不透明だとする批判が韓国国内で再び高まっています。

ロッテホールディングス「コメント差し控える」

東京に本社を置く「ロッテホールディングス」は、「現在も引き続き捜査中であり、コメントは差し控えさせていただきます」としています。

創業者の長男「深刻な懸念を表明」

創業家内部の主導権争いで、去年、東京に本社を置く「ロッテホールディングス」の副会長を解任され、現在は「ロッテホールディングス」の筆頭株主である資産管理会社の社長を務める創業者の長男、重光宏之氏は、「今回の逮捕は、一個人の刑事責任にとどまるものではなく、ロッテグループの経営体質やコンプライアンス体制が問われるものであると真摯(しんし)に受け止め、経営の透明性を向上させる必要性を改めて強く認識している。『ロッテホールディングス』の最大株主として創業精神をないがしろにする現在の経営体制について改めて深刻な懸念を表明する。当社は今の経営陣に対して説明責任を果たすことをもとめるとともに企業価値を守り、企業としての透明性を高めるため、必要な対応を行う」とするコメントを出しました。